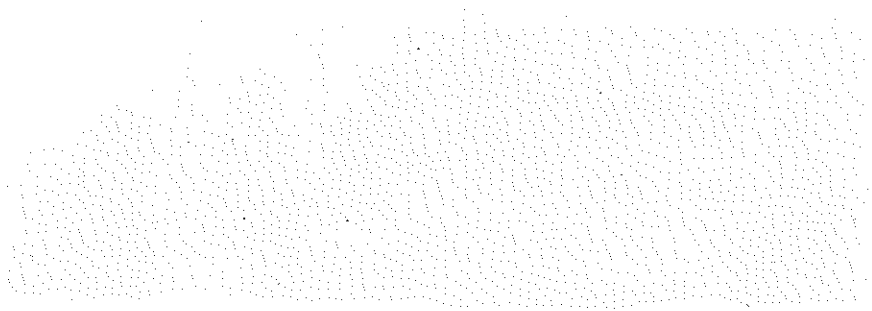


豊監報第1-7号
令和元年11月28日

豊岡市監査委員	保田勇一
豊岡市監査委員	中嶋英樹
豊岡市監査委員	椿野仁司

定期監査及び行政監査結果報告について

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査及び行政監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果を報告します。



定期監査及び行政監査結果報告書

第1 監査の種類

地方自治法第199条第1項の規定に基づく財務監査を第4項の規定による定期監査として、併せて第2項の規定に基づく行政監査を実施した。

第2 監査の対象

1 監査の対象

政策調整部政策調整課及び防災課、地域コミュニティ振興部コミュニティ政策課及び生涯学習課、健康福祉部健康増進課並びに議会事務局

2 対象期間と範囲

2019年4月1日から8月31日現在までの各課等の財務及び一般行政事務に関する事務の執行

第3 監査の着眼点

今回の監査は、各課等の所管事務を対象に、主に予算執行その他の事務の処理状況、現金・物品の出納及び保管状況並びに契約の状況等を重点に、2019年8月31日現在の監査要求資料等に基づき、それぞれの事務が関係法令等に準拠し、かつ適正に行われているかを試査した。

第4 監査の主な実施内容

監査委員事務局職員による事前監査（予備調査）をヒアリング形式により実施するとともに、監査委員による監査を実施した。

1 事前監査実施日 2019年10月15日及び16日

- (1) 監査要求資料〔各課共通分及び課別要求資料〕、関係帳簿及び書類の提出を求め、事前監査点検事項（チェックシート）を作成した。
- (2) 収入及び支出伝票を抽出調査し内容を聴取、確認するとともに、財務会計システムにより予算全体の執行状況を確認した。
- (3) 事務概要、職員数及び主要な事務事業の概要について説明を受け、進捗状況等について確認した。
- (4) 補助金交付事務、委託業務及び工事契約について、内容、事務処理の適正性及び進捗状況等を確認した。
- (5) 備品の購入事務について、内容、事務処理の適正性を確認し、物品の管理状況等を聴取した。
- (6) 財産調書に基づいて、建物、構築物、物品・機械器具（100万円以上）、基金、債権及び債務について、内容を聴取した。
- (7) 資金前渡金について、内容を聴取し処理状況の確認を行った。
- (8) 現金等の保管状況について、内容等を聴取し保管の方法等の確認を行った。
- (9) 事務局を担っている外郭団体の内容や予算の執行状況等について、支出簿、通帳等により確認した。

- 2 監査委員監査の実施 2019年10月25日及び28日
事前監査（予備調査）の結果を踏まえて行った。
- 3 監査委員名 監査委員 保田勇一、監査委員 中嶋英樹、監査委員 木谷敏勝
なお、議会から選任された木谷敏勝監査委員は、地方自治法第199条の2の規定により
議会費の監査については除外した。
- ※ 木谷敏勝監査委員は、2019年11月11日で退職した。

第5 監査の実施期間

- 1 実施場所 豊岡市役所本庁舎及び立野庁舎
- 2 監査の期間 2019年9月2日から同年11月15日まで

第6 監査の結果

監査の結果については、おおむね適正な事務処理がなされていると認められた。しかし、事務の一部について、留意及び改善を要する点が見受けられたので、それぞれ必要な措置を講じ適正な事務処理に努められたい。

なお、今回の監査における指導事項及び検討事項等は、「第7 監査の総括及び所見」に述べているとおりであるので、今後、対応等検討されたい。

また、軽易な注意事項等についてはその都度口頭で改善指導したので、記述を省略した。

以下、監査の結果は次のとおりである。なお、文中及び各表中の係数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理した関係上、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

◎ 政策調整部 一政策調整課一

1 業務内容及び職員の配置状況

政策調整課は、市政の総合企画及び総合調整、市の基本構想、地方創生の総合調整、地方創生総合戦略の推進、戦略的政策分野の調査及び研究、特命事項及び市政課題の調査並びに研究、過疎及び辺地計画、庁議・経営戦略会議・政策調整会議その他庁内会議、広域行政団体、定住自立圏構想の推進、行財政改革の推進、事務改善の推進、行政評価、事業評価監視委員会に関する事務等を担当している。

事務組織は、政策調整係、行財政改革係の2係からなり、課長ほか5名の職員が配置されている。

2 予算の執行状況（2019年8月31日現在）

歳入

（単位：千円、％）

区 分	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	収 入 率		予算額との比較 (A-C)
				C/A	C/B	
国庫支出金	127,794	108,004	0	0.0	—	127,794
県支出金	75,000	54,404	0	0.0	—	75,000
市 債	159,700	0	0	0.0	—	159,700
計	362,494	162,408	0	0.0	—	362,494

歳 出

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	執行済額	執 行 率	予算残額	備 考
一 般 管 理 費	5,661	547	9.7	5,114	
企 画 費	38,452	14,961	38.9	23,491	
まちづくり推進費	138	114	82.5	24	
計	44,251	15,623	35.3	28,628	

(人件費は除く)

歳入は、国庫補助金（地方創生推進交付金）、県補助金（ひょうご地域創生交付金）、市債（過疎対策事業債）であり、予算現額362,494千円、調定額162,408千円、収入済額0円となっている。

歳出は、人件費を除いた予算現額44,251千円に対する執行済額は15,623千円となっており、執行率は35.3%である。執行済額の主なものは、行革推進事業費318千円、企画調整費（但馬広域行政事務組合負担金、但馬自治会負担金等）14,654千円、戦略的政策分野研究費169千円である。

3 主な取組状況

- (1) 第3次行政改革の推進中、令和元年度予算編成において多額の財政調整基金を取り崩す事態となり、今後の悪化が見込まれる厳しい財政状況から、第4次行財政改革大綱に取り組むこととなった。市民への持続可能な行政サービスを可能にする財政運営を目指すため、豊岡市行財政改革委員会を6回開催し大綱の策定を進めている。
- (2) 第3次行政改革の中心的取り組みとして、戦略的政策評価の手法による行政評価を導入している。職員研修を実施し人材を育成、戦略体系を整理し事業の評価実践を行っている。
- (3) 人口減少の量的緩和及び地域活力維持の質的転換の実現を図るため、6月に地方創生総合戦略（第5版）を作成し、戦略目的の実現達成に向けた効果的な各種施策を推進している。また、地方創生を戦略的・効果的に推進していくため第2期地方創生総合戦略の策定を進めている。
- (4) 市政の課題を明らかにし、新しい施策の展開につなげるため、慶應義塾大学との地域研究や神戸大学との外国人住民に関する調査研究を共同で行っている。

—防災課—

1 業務内容及び職員の配置状況

防災課は、災害対策本部等、地域防災計画、国民保護計画、危機管理、防災啓発、防災研修、訓練、自主防災組織の育成及び強化、備蓄物資、防災行政無線、自衛隊の隊員募集、消防団、消防団の施設及び設備の整備、消防水利、水防資機材の整備に関する事務等を担当している。

事務組織は、防災係、消防係の2係からなり、課長ほか6名（うち臨時職員1名）の職員が配置されている。

2 予算の執行状況 (2019年8月31日現在)

歳入 (現年度)

(単位：千円、%)

区 分	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	収 入 率		予算額との比較 (A-C)
				C/A	C/B	
使用料及び手数料	0	2	2	—	100.0	△2
国庫支出金	27	28	28	103.7	100.0	△1
県支出金	600	0	0	0.0	—	600
寄付金	0	39	39	—	100.0	△39
諸収入	51,411	39,939	39,827	77.5	99.7	11,584
市債	685,200	0	0	0.0	—	685,200
計	737,238	40,008	39,896	5.4	99.7	697,342

歳入 (繰越明許費)

(単位：千円、%)

区 分	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	収 入 率		予算額との比較 (A-C)
				C/A	C/B	
市債	2,500	0	0	0.0	—	2,500
計	2,500	0	0	0.0	—	2,500

歳出 (現年度)

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	執行済額	執行率	予算残額	備 考
諸 費	27	12	45.5	15	
非常備消防費	310,810	109,386	35.2	201,424	
消防施設費	43,926	3,795	8.6	40,131	
水防費	2,111	1,160	54.9	951	
災害対策費	628,959	11,879	1.9	617,080	
計	985,833	126,233	12.8	859,600	

(人件費は除く)

歳出 (繰越明許費)

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	執行済額	執行率	予算残額	備 考
消防施設費	2,500	1,081	43.2	1,419	
計	2,500	1,081	43.2	1,419	

現年度の歳入は、予算現額737,238千円、調定額40,008千円、収入済額39,896千円となっている。予算現額に対する収入率は5.4%、調定額に対する収入率は99.7%である。収入済額の主なものは、雑入 (消防団員交付金等) 39,827千円である。

繰越明許費の歳入は、市債であり、予算現額2,500千円、調定額と収入済額はともに0円となっている。

現年度の歳出は、職員人件費を除いた予算現額985,833千円に対する執行済額は126,233千円となっており、執行率は12.8%である。執行済の主なものは、消防団員に係る人件費54,727千円、非常備消防事業費54,659千円、防災行政無線整備事業費5,450千円である。諸

費は自衛隊員募集事務費である。

繰越明許費の歳出は、予算現額2,500千円に対する執行済額は1,081千円、執行率43.2%である。これは、消火栓管理に係る経費である。

3 主な取組状況

- (1) 総務省の方針（電波の有効活用のため、電波をアナログからデジタルへ移行させる。）により、現在運用しているアナログ電波が使用できなくなることで、現行防災行政無線設備の更新時期が到来することからデジタル防災行政無線設備の整備を行い、10月から運用を開始している。
- (2) 災害現場等での消防団員の活動時の安全性を向上させるため、長靴2,050足をすべての消防団員に配備した。長靴は、靴底に踏抜き防止板を挿入し、つま先には先しんを設けたもので「消防団員服制基準」に合致したものである。

◎ 地域コミュニティ振興部

ーコミュニティ政策課ー

1 業務内容及び職員の配置状況

コミュニティ政策課は、地域コミュニティ施策、集落対策、参画と協働のまちづくり、コミュニティセンターの設置及び運営に関する事務等を担当している。

事務組織は、コミュニティ振興係からなり、課長ほか6名（うち臨時職員1名）の職員が配置されている。

また、地域マネージャーとして豊岡地域の各コミュニティセンターに10名の嘱託職員が配置されており、コミュニティセンターの管理運営に関する事務を担当している。

2 予算の執行状況（2019年8月31日現在）

歳入

（単位：千円 %）

区 分	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	収 入 率		予算額との比較 (A-C)
				C/A	C/B	
使用料及び手数料	4,914	1,943	2,095	42.6	107.9	2,819
財 産 収 入	519	323	269	51.9	83.5	250
諸 収 入	1,906	100	100	5.3	100.0	1,806
計	7,339	2,366	2,465	33.6	104.2	4,874

歳出

（単位：千円、%）

区 分	予算現額	執行済額	執行率	予算残額	備 考
まちづくり推進費	716	91	12.7	625	
地域コミュニティ推進費	145,189	72,018	49.6	73,171	
計	145,905	72,109	49.4	73,796	

（人件費は除く）

歳入は、予算現額7,339千円、調定額2,366千円、収入済額2,465千円となっている。予算現額に対する収入率は33.6%、調定額に対する収入率は104.2%である。収入済額の主なも

のは、使用料（コミュニティセンター使用料等）2,095千円である。

歳出は、人件費を除いた予算現額145,905千円に対する執行済額は72,109千円となっており、執行率は49.4%である。執行済額の主なものは、地域コミュニティ推進事業費42,765千円、コミュニティセンター管理費29,254千円である。

3 主な取組状況

- (1) 特色あるまちづくり、地域づくりなどを推進し、魅力あるまちを創造するため、小規模集落等が主体的に行う都市との交流、自立的なにぎわいづくり等の取り組みを支援するひょうご地域再生大作戦の周知活用を行っている。
- (2) 市のさまざまな事業に市民等の意見を反映しながら、質的な向上や効率化を図り、市民との協働を推進するため、職員研修を実施する予定である。
- (3) 地域コミュニティの取り組みを推進するため、地域サポーターを1名配置し、中間支援組織の構築に向けて調査研究を行っている。
- (4) 地域コミュニティの目指すべき将来像を定め、各組織が地域づくりの計画を策定する際の一定の指針とするため、「豊岡市地域コミュニティビジョン」の策定を進めている。
- (5) 地域コミュニティ組織の活動拠点となるコミュニティセンターの計画的な保全を行うため、「豊岡市コミュニティセンター個別計画」を策定し、「公共施設のあり方を考える市民懇談会」において、他計画と合わせ説明を行い、理解を求める予定である。

－生涯学習課－

1 業務内容及び職員の配置状況

生涯学習課は、社会教育の企画調整及び推進、社会教育に関する機関（施設）の設置・管理及び連絡調整、社会教育委員、社会教育関係団体の育成、生涯学習の推進、青少年健全育成施策の企画調整及び推進、青少年問題協議会、成人式、社会包摂、人権教育及び啓発、人権擁護委員、青少年センター、青少年の補導及び相談、図書館の管理運営、植村直己冒険館の管理運営及び植村直己顕彰事業に関する事務等を担当している。

事務組織は、生涯学習係、人権係、青少年センターがあり、課長ほか9名（うち嘱託職員2名、臨時職員1名）の職員が配置されている。

生涯学習課の所管する施設は、次のとおりである。

(1) 図書館・分館

図書館の管理運営、図書館における資料の収集・整理及び保存、図書館における資料の館外貸出及び館内利用、時事に関する情報及び参考資料の図書館での紹介並びに提供、読書活動促進のための図書館における企画及び諸事業の実施に関する事務等を担当している。

職員は、館長ほか26名（うち嘱託職員11名、臨時職員8名）の職員が配置されている。

施設名	職員数（人）			計
	正職員(司書)	嘱託(司書)	臨時(司書)	
豊岡市立図書館	7 (4)	6 (4)	3 (2)	16(10)
豊岡市立図書館城崎分館	-	1 (1)	1	2 (1)
豊岡市立図書館竹野分館	-	1 (1)	1	2 (1)
豊岡市立図書館日高分館	-	1 (1)	1	2 (1)
豊岡市立図書館出石分館	-	1 (1)	1 (1)	2 (2)

施設名	職員数(人)			
	正職員(司書)	嘱託(司書)	臨時(司書)	計
豊岡市立図書館但東分館	-	1(1)	1(1)	2(2)
合計	7(4)	11(9)	8(4)	26(17)

(2) 植村直己冒険館

植村直己冒険館の管理運営及び植村直己顕彰事業に関する事務を担当している。

職員は、館長(嘱託)ほか5名(うち嘱託職員2名、臨時職員1名)が配置されている。

2 予算の執行状況(2019年8月31日現在)

歳入(現年度)

(単位:千円、%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入率		予算額との比較 (A-C)
				C/A	C/B	
使用料及び手数料	7,287	2,064	2,623	36.0	127.1	4,664
県支出金	780	30	30	3.8	100.0	750
財産収入	0	95	95	-	100.0	△95
寄附金	0	3,820	3,820	-	100.0	△3,820
繰入金	10,725	0	0	0.0	-	10,725
諸収入	4,886	794	935	19.1	117.8	3,951
市債	51,500	0	0	0.0	-	51,500
計	75,178	6,803	7,503	10.0	110.3	67,675

歳出(現年度)

(単位:千円、%)

区分	予算現額	執行済額	執行率	予算残額	備考
企画費	7,207	6,758	93.8	449	
市民プラザ費	81,199	25,134	31.0	56,065	
人権対策費	2,287	832	36.4	1,455	
社会教育総務費	58,000	2,218	3.8	55,782	
人権教育費	8,044	5,193	64.6	2,851	
青少年教育費	17,384	10,922	62.8	6,462	
青少年補導費	1,240	446	36.0	794	
図書館費	55,040	15,793	28.7	39,247	
博物館等管理費	29,631	5,035	17.0	24,596	
博物館等自主事業費	15,799	3,008	19.0	12,791	
計	275,831	75,340	27.3	200,491	

(人件費は除く)

歳出(繰越明許費)

(単位:千円、%)

区分	予算現額	執行済額	執行率	予算残額	備考
博物館等管理費	2,916	2,916	100.0	0	
計	2,916	2,916	100.0	0	

現年度の歳入は、予算現額75,178千円、調定額6,803千円、収入済額7,503千円となっている。予算現額に対する収入率は10.0%、調定額に対する収入率は110.3%である。収入済額の主なものは、使用料（植村直己冒険館入館料等）2,623千円、寄附金（一般寄附金）3,820千円及び雑入（植村直己冒険館頒布代等）935千円である。

現年度の歳出は、人件費を除いた予算現額275,831千円に対する執行済額は75,340千円、執行率は27.3%である。執行済額の主なものは、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催事業費6,758千円、市民プラザ管理費24,678千円、図書館管理費8,778千円である。

繰越明許費の歳出は、予算現額2,916千円に対する執行済額は2,916千円、執行率は100.0%である。これは、植村直己冒険館機能強化事業者選定支援アドバイザー業務に係る経費である。

3 主な取組状況

- (1) 豊岡にいながらにして世界とつながり、豊岡を誇りに思う子供たちを育てるため、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭（おんぷの祭典）を開催し、3,957名（うち高校生以下1,921名）の参加があった。
- (2) さまざまな年代の市民が芸術文化にふれあい、創造する機会を創出するため市民プラザにおいて、「劇の学校」、「入門！舞台スタッフ～地域文化を支える市民の舞台技術入門講座～」などの事業を行っている。入門講座は人材発掘と育成にもつながっている。
- (3) 但馬高齢者生きがい創造学院の移設及び子育て中の母親を中心とした女性の就労支援を図るため取得した土地・建物において設計の際に不同沈下が発見された。そのため、既存の建物を取り壊し、適切な規模で新築整備する計画を進めている。
- (4) 図書館の本来の機能と担うべき役割、図書館の目指す姿をとりきめた「豊岡市図書館未来プラン」を策定し、計画に基づき具体的な事業を推進している。図書館サポーター組織「みんなのとしょかん」が7月に設立され、サポーター組織、市民組織との協働の場として、10月27日に図書館まつりを開催した。
- (5) 植村直己冒険館の機能強化を図るため、事業者選定委員会を開催し、優先交渉者を決定した。9月27日に特別目的会社と事業契約を締結し、事業計画の詳細検討及び基本設計に着手している。
- (6) 人権尊重の意識を高め、すべての人の基本的人権が尊重されるまちづくりを実現するため、人権教育推進員による出石幼稚園人権研修会などの学習機会の提供、豊岡市人権教育推進協議会との連携や市民ふれあいのつどいの開催、地域事業を通じた教育啓発活動を実施している。

◎ 健康福祉部 —健康増進課—

1 業務内容及び職員の配置状況

健康増進課は、保健及び健康増進施策の総括、企画調整及び実施、健康行動計画の策定、地域医療の確保、診療所（管理運営に関することを除く。）、住民結核検診の実施、献血、健康行動計画の推進、生活習慣病の予防に係る健康調査及び各種がん検診、感染症対策、予防接種の実施、食育の推進、精神保健、自殺対策計画の推進、特定健康診査の実施、特定保健指導の実施、母子保健、妊産婦又は乳幼児に係る健康相談及び保健指導、子育て世代包括支援センター事業、歩いて暮らすまちづくり構想、総合健康ゾーンの維持管理及び運営、地方

創生総合戦略（自然増に関する部分）の推進、市民の健康増進についての各種研修・健康相談・健康診査等の保健サービス、保健センターの管理、休日急病診療所の管理運営、但東歯科診療所の管理運営に関する事務等を担当している。

事務組織は、保健医療政策係、健康増進係、成人保健係、国保保健係、おやこ支援室、健康まちづくり推進室、ハートリーフ推進室の4係3室からなり、施設として保健センター、休日急病診療所、但東歯科診療所を所管しており、課長ほか53名（うち、嘱託職員12名、臨時職員7名）の職員が配置されている。

2 予算の執行状況（2019年8月31日現在）

歳入

（単位：千円、％）

区 分	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	収 入 率		予算額との比較 (A-C)
				C/A	C/B	
使用料及び手数料	608	200	172	28.2	85.8	436
国庫支出金	8,267	0	0	0.0	—	8,267
県支出金	14,154	511	0	0.0	0.0	14,154
財産収入	385	385	385	100.0	100.0	0
諸収入	93,430	27,227	24,065	25.8	88.4	69,365
計	116,844	28,323	24,621	21.1	86.9	92,223

歳出

（単位：千円、％）

区 分	予算現額	執行済額	執行率	予算残額	備 考
財産管理費	172	5	2.9	167	
企画費	8,206	1,511	18.4	6,695	
社会福祉総務費	12,846	0	0.0	12,846	
老人福祉事業費	6,150	5,550	90.2	600	
児童福祉総務費	2,024	236	11.7	1,788	
保健衛生総務費	92,007	25,635	27.9	66,372	
生涯健康推進費	274,753	83,389	30.4	191,364	
予防費	268,904	56,533	21.0	212,371	
病院費	2,632,380	1,735,910	65.9	896,470	
診療所費	77,309	49	0.1	77,260	
計	3,374,751	1,908,817	56.6	1,465,934	

（人件費は除く）

歳入は、予算現額116,844千円、調定額28,323千円、収入済額24,621千円で、予算現額に対する収入率は21.1％、調定額に対する収入率は86.9％となっている。収入済額の主なものは、雑入（各種検診弁償金等）24,065千円である。

歳出は、人件費を除いた予算現額3,374,751千円に対する執行済額は1,908,817千円、執行率は56.6％である。執行済額の主なものは、総合健康ゾーン健康増進施設管理費18,057千円、健康診査事業費53,659千円、母子保健事業費27,020千円、予防接種事業費56,533千円、公立豊岡病院組合負担金1,713,410千円、医師修学資金貸与事業費22,500千円である。

○ 国民健康保険事業特別会計（直診勘定）〔健康増進課所管分〕

歳入

(単位：千円、%)

区 分	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	収 入 率		予算額との比較 (A-C)
				C/A	C/B	
診 療 収 入	66,481	17,173	16,981	25.5	98.9	49,500
使用料及び手数料	606	201	194	32.0	96.6	412
県 支 出 金	2,898	0	0	0.0	—	2,898
繰 入 金	14,346	0	0	0.0	—	14,346
繰 越 金	0	3,397	3,397	—	100.0	△3,397
諸 収 入	181	70	65	35.7	91.6	116
市 債	2,800	0	0	0.0	—	2,800
計	87,312	20,842	20,637	23.6	99.0	66,675

歳出

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	執行済額	執 行 率	予算残額	備 考
一 般 管 理 費	8,807	2,861	32.5	5,946	
医療用消耗器材費	3,600	1,183	32.9	2,417	
医療用衛生材料費	30,000	12,298	41.0	17,702	
医療用機械器具費	7,739	688	8.9	7,051	
元 金	641	320	49.9	321	
利 子	33	7	34.9	26	
予 備 費	100	0	0.0	100	
計	50,920	17,358	34.1	33,562	

(人件費は除く)

歳入は、予算現額87,312千円、調定額20,842千円、収入済額20,637千円で、予算現額に対する収入率は23.6%、調定額に対する収入率は99.0%である。収入済額の主なものは、診療収入(外来収入、予防接種料収入)、繰越金(前年度繰越金)である。

歳出は、人件費を除いた予算現額50,920千円に対する執行済額は17,352千円、執行率は34.1%である。執行済額の主なものは、医療用衛生材料費12,298千円、一般管理費2,861千円である。

○ 診療所事業特別会計〔健康増進課所管分〕

歳入

(単位：千円、%)

区 分	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	収 入 率		予算額との比較 (A-C)
				C/A	C/B	
豊岡休日急病 診療所収入	21,827	5,589	5,583	25.6	99.9	16,244
森本診療所収入	86,507	14,638	14,522	16.8	99.2	71,985
神鍋診療所収入	74,273	16,877	16,611	22.4	98.4	57,662
高橋診療所収入	65,752	10,558	10,232	15.6	96.9	55,520
但東歯科診療所収入	17,154	2,341	2,263	13.2	96.7	14,891
繰越金	0	20,200	20,200	—	100.0	△20,200
計	265,513	70,203	69,411	26.1	98.9	196,102

歳出

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	執行済額	執行率	予算残額	備 考
施設管理費	13,850	5,443	39.3	8,407	
医業費	4,221	1,192	28.3	3,019	
利子	37	0	0.0	37	
小計	18,098	6,634	36.7	11,464	豊岡休日急病診療所
施設管理費	4,703	1,658	35.2	3,045	
医業費	40,239	13,247	32.9	26,992	
元金	1,704	496	29.1	1,208	
利子	53	8	14.4	45	
小計	46,699	15,409	33.0	31,290	森本診療所
施設管理費	4,966	1,550	31.2	3,416	
医業費	33,140	12,426	37.5	20,714	
小計	38,106	13,976	36.7	24,130	神鍋診療所
施設管理費	6,751	2,402	35.6	4,349	
医業費	26,687	9,617	36.0	17,070	
元金	1,100	550	50.0	550	
利子	20	10	50.5	10	
小計	34,558	12,579	36.4	21,979	高橋診療所
施設管理費	10,864	2,247	20.7	8,617	
医業費	3,340	1,612	48.3	1,728	
小計	14,204	3,859	27.2	10,345	但東歯科診療所
予備費	500	0	0.0	500	
総計	152,165	52,457	34.5	99,708	

(人件費は除く)

歳入は、予算現額265,513千円、調定額70,203千円、収入済額69,411千円で、予算現額に対する収入率は26.1%、調定額に対する収入率は98.9%となっている。収入済額の主なもの

は、診療収入である。

歳出は、人件費を除いた予算現額152,165千円に対する執行済額は52,457千円、執行率は34.5%である。各診療所の執行率は、豊岡休日急病診療所36.7%、森本診療所33.0%、神鍋診療所36.7%、高橋診療所36.4%、但東歯科診療所27.2%である。

3 主な取組状況

- (1) 豊岡市国保加入者に対し基本健診を、対象者に対し特定保健指導を実施している。また各種がん検診を実施している。土日健診の充実、一時保育サービスなどにより受診しやすい環境づくりに努め、受診者の増加を図っている。疾病の早期発見と早期治療により市民の健康の保持増進と医療費の削減につながっている。
- (2) 妊娠期から乳幼児期の健康づくりと切れ目ない支援の推進を図るため、各種健診、指導、相談を実施している。特に妊産婦への支援では、8月末現在、産前産後サポート事業で29回、養育支援訪問事業で24回の妊産婦に対する家庭訪問を行っている。
- (3) 乳幼児から高齢期までの定期予防接種の接種率の向上を図っている。風しんの感染拡大を阻止するための追加対策については、8月末現在対象者に対する抗体検査の実施率は13.9%、予防接種の実施率は12.8%となっている。
- (4) 健康づくりの知識の普及やきっかけづくりのために、保健師等が「健康づくり応援隊」として54か所で健康教室を実施し、1,227人の市民が参加している。
- (5) いのち支える豊岡市自殺対策計画を推進し、市民への啓発及びこころの相談の充実を進め、関係機関との連携強化を図っている。
- (6) 玄さん元気教室は、8月末現在203団体が実施している。また、職場対抗歩キング、親子わくわく歩キング、健康企業歩キングなどの取り組みを通じてウォーキングの機運を高めている。
- (7) 結婚したい人が結婚できるように、持ちたい人数の子どもが産めるように、独身者や若いカップルを応援する事業を展開している。

◎ 議会事務局

1 業務内容及び職員の配置状況

議会事務局は、議会活動及び議会運営の円滑化を図るべく、市議会定例会・臨時会・全員協議会及び各委員会の議事運営、議案の受理、議員提出議案の調査、請願・陳情・意見書・決議書等に関する事務、議員の研修、議会活動の広報に関する事務等を担当している。

事務組織は、庶務係、議事係、調査係の3係からなり、事務局長ほか6名の職員が配置されている。

2 予算の執行状況 (2019年8月31日現在)

歳 出

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	執行済額	執行率	予算残額	備 考
議 会 費	214,290	114,405	53.4	99,885	
計	214,290	114,405	53.4	99,885	

(人件費は除く)

歳出は、職員人件費を除いた予算現額214,290千円に対する執行済額は114,405千円、執行率は53.4%である。執行済額の主なものは、議員に係る人件費101,995千円、議会管理費5,406千円、議会運営活動費7,005千円である。

3 主な取組状況

- (1) 議会運営の円滑化を図るため、議会改革の推進に向けた議会運営委員会を開催している。市議会本会議における一般質問時間を答弁時間を含め65分以内とするなど議会傍聴がしやすい環境としている。
- (2) 市民への議会活動の周知と情報公開により、市政への参画と協働を推進している。議会だよりの発行、また本会議のインターネット中継を実施し、今期6月定例会からはスマートフォンでも閲覧可能とした。
- (3) 議会内に専門検討機関として「議会ICT推進プロジェクトチーム（議員8名）」を設置し、会議を6回開催し、アンケートの実施、行政視察を行い検討を進めた結果、議会にタブレット端末等を導入すべきとの結論となった。

第7 監査の総括及び所見

内部統制の有効性及び事務の経済性、妥当性並びに合理性の観点から、全体的（共通事項）における指導事項等については、つぎのとおりである。

〔指導事項〕

1 「豊岡市会計規則」に基づく適正な事務処理について

支出負担行為として整理する時期に支出負担行為を行っていないものが見受けられた。契約事務の誠実な履行を行うため、また支払い遅延が生じ相手方に損害を与えたり遅延利息を支払うリスクを防止するためにも支出負担行為伺票の所定の時期の起票を徹底されたい。また、資金前渡金の精算は、支払い完了後5日以内に精算することになっているが、遅延している状況が見受けられた。事務処理の各段階において内部での確認を行う体制を整え、会計事務処理の適正な執行を図られたい。

2 「豊岡市契約規則」及び「豊岡市契約等からの暴力団等の排除に関する要綱」に基づく適正な事務処理について

「豊岡市契約規則」において、契約担当者の遵守事項として不利益な契約を締結してはならないこととなっている。特に地方自治法第234条第2項に規定される随意契約によることが出来る場合についての契約事務が適切であるか今後も確認を徹底されたい。

「豊岡市契約等からの暴力団等の排除に関する要綱」によれば、契約締結時までに契約等の相手方から自らが暴力団に該当しない旨等を記載した誓約書を徴取することとなっているが、徴取されていない契約が見受けられた。暴力団排除に向けた取り組みを実効あるものとするため、事務処理を徹底されたい。

〔要望事項〕

- 1 事務の執行が市民の福祉の増進につながっているか、最少の経費で最大の効果をあげているかどうか検証を行い、共同研究事業の成果である報告書などの成果物が市の新しい施策の展開につながっていくことを期待している。

- 2 補助金の効果的な活用は有効な手段であると考えているが、補助の長期化による補助金の名称に違和感を感じるものが見受けられた。「豊岡市補助金等見直し基準」に基づき見直しを検討されたい。
- 3 各課等に保管されている現金等の保管状況について、内容等を聴取し保管の方法等の確認を行った。適正に管理されていたが、今後も事故防止等の観点から小口現金などの管理を適正に行い、「公金(現金)管理マニュアル」に基づく厳正な手続きのもと公金の取り扱いを行われたい。
- 4 豊岡市との取引を希望する業者をリスト化し、相手方の信用状態を的確に把握したものととして、契約担当課においてリストが整備されている。原則として物品の購入はリストにある登録業者以外からは行わないこと、リストに掲載されている営業所等から見積徴収、契約締結を行うこととされている。相手方の期待に沿うように誠意をもって取引が行われることを要望する。

各課における要望事項等については、次のとおりである。

政策調整課

- 1 より成果を重視した行政経営への転換を推進するため、戦略的政策評価の手法を用いた行政評価の取り組みを進めている。将来にわたって、環境の変化に応じた質の高い行政サービスを提供していくために、限られた行政資源(人・もの・金)で、常に目的と手段を意識し、評価と改善を繰り返し、効果的・効率的な行政経営に努められたい。
- 2 職員が、明確に定義された機能・役割のもとで、共通の目標の達成にむけた協力関係の構築を行い、有効なサービスを行うために必要な市民への説明を効率的に行うことを、市政の総合企画及び総合調整に関する事務を所管する貴課に期待する。

防災課

- 1 デジタル防災行政無線設備への確実な移行により、防災行政無線が本市にとって最適な防災情報システムとなるよう要望する。
- 2 消防団の団員数は、定数2,230人に対し、2019年4月1日現在の実人員は2,018人、充足率は90.49%であり、欠員傾向がみられる。消防団員の確保については厳しい状況と見受けられるが、市民の願いであり市民の安全・安心を確保するためにも、関係団体と連携し団員確保に努められるとともに、現状を踏まえた団活動の機能確保についても検討されたい。

コミュニティ政策課

- 1 2017年4月に各地区公民館はそれぞれのコミュニティセンターに移行し、施設としてその機能を維持するという方針が定められている。まちづくりの観点からも関係各課と連携し、今後も計画的な維持管理に努められたい。
- 2 住民主体の地域コミュニティ組織については、地域の特性を生かした仕組みを構築するとともに住民自治の力を強め、地域の活性化と持続的な運営が可能となるよう、各地域への人的・財政的な支援等に努められたい。

生涯学習課

- 1 生涯学習サロン整備が、高齢者を含むすべての人に学習機会を提供するとともに、中心市街地の活性化と、子育て中の母親を中心とした女性の就労支援を目的として進められている。施設として機能し、大いに利用されることを期待する。
- 2 植村直己冒険館の施設改修に合わせ、機能強化事業が推進されている。冒険館が持続可能な施設運営と事業展開を図り、賑わいのある施設として機能することを期待する。

健康増進課

- 1 疾病の予防と早期発見、早期治療により、市民の健康の保持増進を図るため、健康診査事業等を実施している。引き続き市民への周知に努め、無関心層への働きかけ等受診率向上につながる健診方法等を検討され努力されたい。
- 2 但東振興局内に設置された但東歯科診療所について、計画どおりに事業が進んでいると聴取したが、今後安定的に診療日が確保され、市民の健康保持に必要な歯科医療を提供することができるように努められたい。

議会事務局

議会内部においても、議会改革の推進に向けた協議が実施されている。今後も、議会に対する市民の関心を得る広報活動に努め、議会活動を広く市民に周知し、開かれた議会、市民に身近で信頼される議会として、市民の市政への参画と協働を図られたい。